

障がい者を対象とした 金融経済教育についての意識調査2024

2024年8月23日

 SMBC **SMBCコンシューマーファイナンス**

 **MIRAIRO**

目次

- 1. 調査概要 .. P. 2 ~ 4
- 2. サマリー .. P. 5 ~ 6
- 3. 結果詳細 .. P. 7 ~ 20
- 4. 留意事項 .. P.21 ~ 22

■ 1. 調査概要

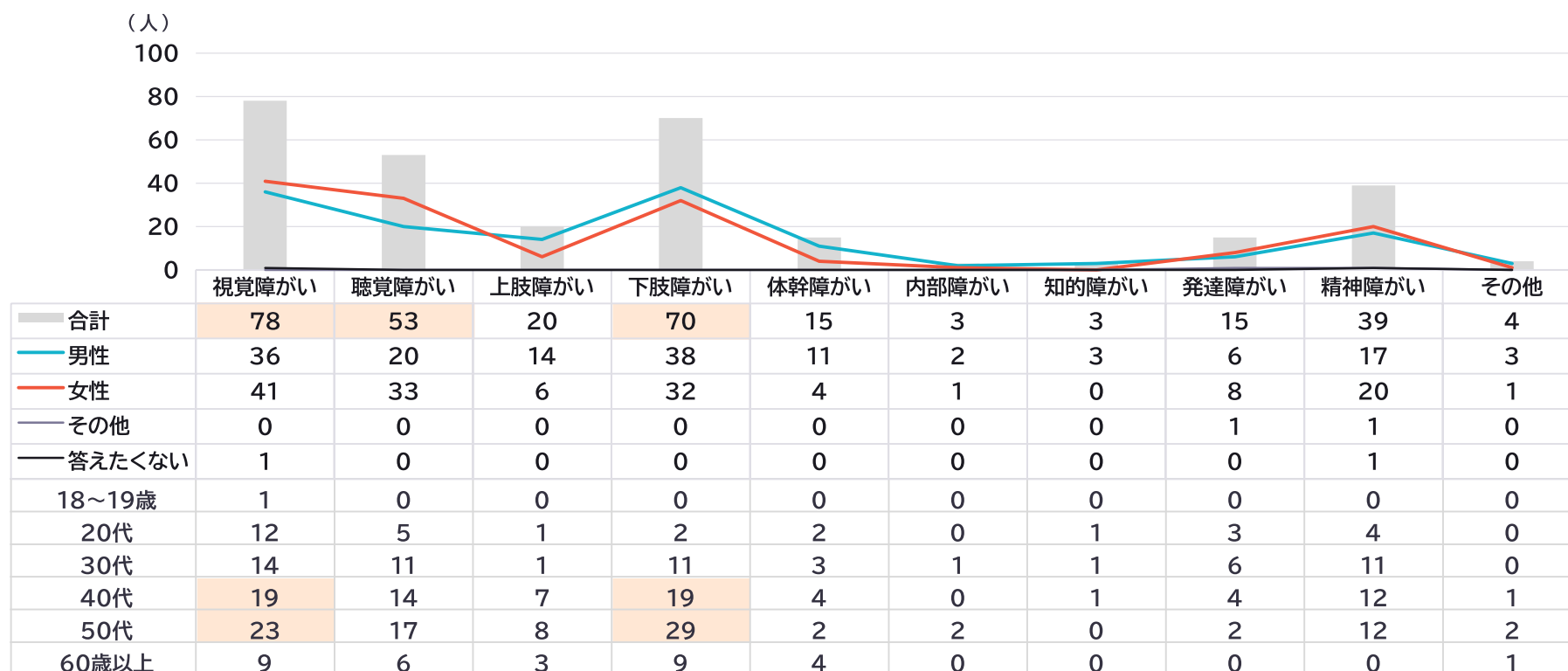
調査概要

	内容
調査名称	障がい者を対象とした金融経済教育についての意識調査2024
調査手法	Webアンケート調査
調査日	2024年5月7日(火) ~ 2024年5月21日(火)
回答数	合計300名 ※内訳 ・ 視覚障がい:78名 ・ 聴覚障がい:53名 ・ 上肢障がい:20名 ・ 下肢障がい:70名 ・ 体幹障がい:15名 ・ 内部障がい: 3 名 ・ 知的障がい: 3 名 ・ 発達障がい:15名 ・ 精神障がい:39名 ・ その他 : 4 名
対象者条件	・ 障がいのある18歳以上の男女(男女比はおおむね均等) ・ 調査地域は全国
調査協力会社	株式会社ミライロ

回答者内訳(性別・年代・障がい種別)

- 性別は、どの障がい種別においても男女比の偏りは見受けられない。
- 障がい種別は、「視覚障がい(78人)」、「下肢障がい(70人)」、「聴覚障がい(53人)」の順に多い。
- 年代は、50代「下肢障がい(29人)」、「視覚障がい(23人)」、40代「下肢・視覚(ともに19人)」の順に多い。

▶ あなたの主な障がい種別として、もっともあてはまるものを教えてください。



※その他:片麻痺、平衡機能障がい

(n=300)※知的、内部障がい、18~19歳はサンプル数寡少のため参考値

■ 2. サマリー

サマリー

01

全体の過半数が何かしらの金融トラブルにあった、もしくはあいそうになったことがある。

- ほぼ全ての障がい種別において、**過半数に近い・もしくは過半数が何かしらのトラブルにあった・あいそうになった**と答えている。…P.8
- 金融トラブルの中では、「マルチ商法・ねずみ講」被害(未遂も含む)が最も多く、39%に達する。続いて「フィッシング詐欺」、「ワンクリック詐欺」の順に多い。…P.9

02

セミナーや勉強会について、全体の約8割が受講経験はないが、過半数に受講意欲がみられる。受講方法はオンライン希望が多いものの、店舗開催希望も一定数ある。

- 障がい種別に関わらず、**80%程度が受講経験はない**。…P.12
- 障がい種別に関わらず、「オンラインセミナーを受けてみたい」が最多の回答となった。一方で「店舗開催セミナーを受けてみたい」と答えた方も10%を超えた。…P.14

03

各障がい種別において、過半数が「運用(NISA、投資信託など)」を学びたいと感じているが、「普通貯金」、「税金公共料金支払い」など基礎的な学びに関するニーズもあり。

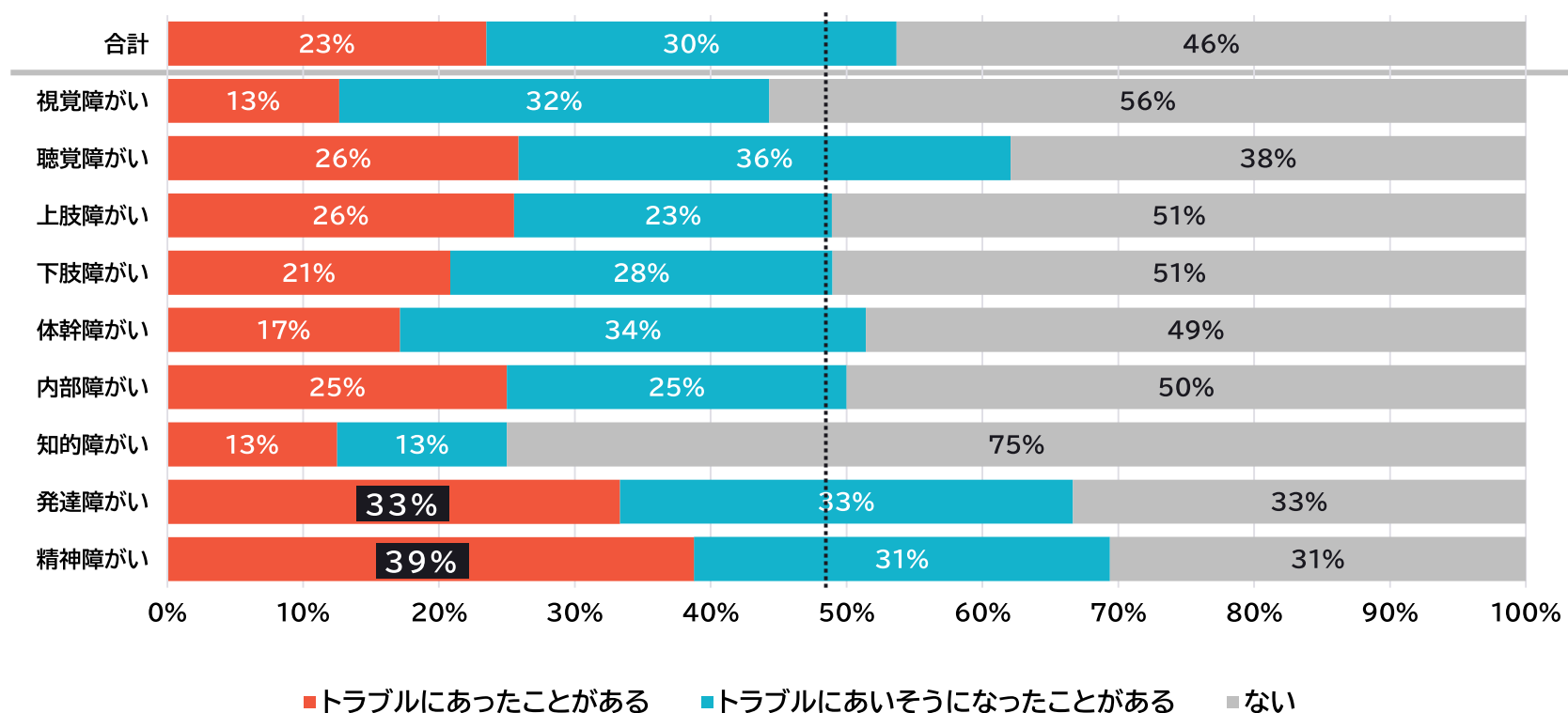
- 全体の過半数が「**運用(NISA、投資信託など)**を学びたい」と答え、次いで「相続」、「保険」、「外貨預金」が多い。…P.17
- 一方、「普通預金」、「定期預金」、「税金公共料金支払い」なども20%近くあり、基礎的な学びを求めている層が一定数みられる。…P.17
- 受講時の配慮は、手話通訳などの情報保障、授業内容の丁寧な言語化、資料の事前配布や分かりやすい説明などを求む「**分かりやすく学べる工夫**」に関連する要望が最も多く、続いて、セミナー会場のバリアフリー状況やオンライン受講を求む「**受講しやすい参加方法**」に関連する要望が多かった。…P.18

3. 結果詳細

金融トラブル×障がい種別

- ・ 視覚および知的障がいを除いたほぼ全ての障がい種別において、過半数に近い・もしくは過半数が何かしらの金融トラブルにあった・あいそうになったと答えている。
- ・ 特に、精神および発達障がいにおいては、金融トラブル経験者が30%以上となり、他の障がい特性に比べて相対的に高いのが特徴的である。

➤ お金にまつわるトラブルについて伺います。これまでに詐欺などのトラブルにあったことはありますか。

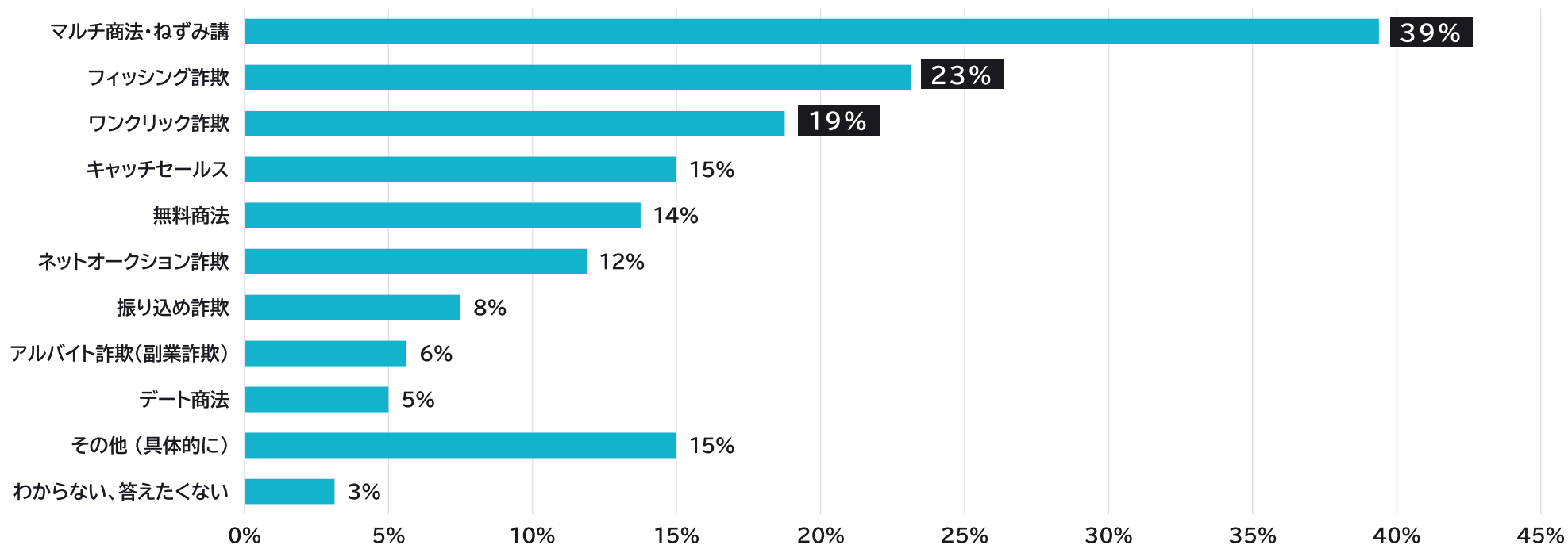


(n=300)※知的、内部障がいはサンプル数寡少のため参考値

金融トラブル種目

- 金融トラブルの中では、「マルチ商法・ねずみ講」被害(未遂も含む)が最も多く、39%に達し、続いて「フィッシング詐欺」、「ワンクリック詐欺」の順に多い。

➤ お金にまつわるトラブルにあった、またはあいさうになったと回答した方に伺います。どのようなトラブルだったか、お答えいただける範囲でお答えください。(複数選択可)



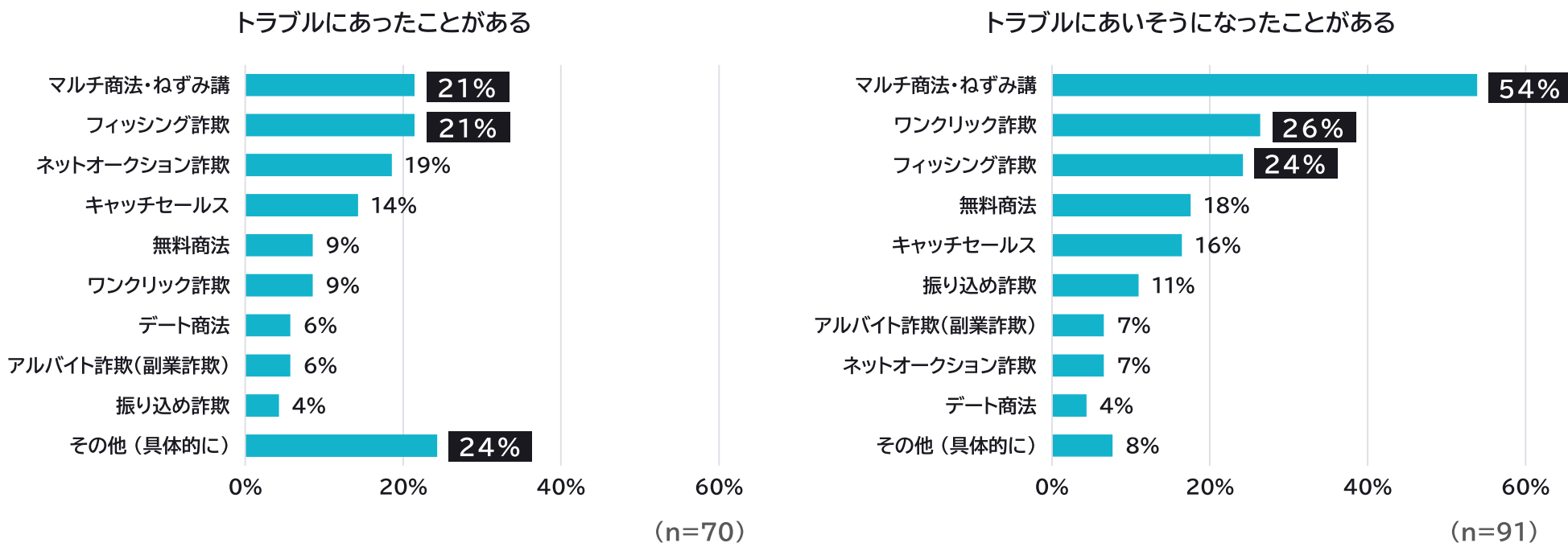
※その他: 視覚(金融商品詐欺、架空料金請求詐欺)、聴覚(ネットショッピング詐欺、架空料金請求詐欺)、上肢(ネットショッピング詐欺)、下肢(フィッシング詐欺とワンクリック詐欺の掛け合わせ)、発達(オーディション商法、ネットショッピング詐欺)、精神(金融商品詐欺、保険詐欺)

(n=161)

金融トラブル種目×トラブル経験

- 金融トラブルにあった方は、「マルチ商法・ねずみ講」、「フィッシング詐欺」が最多だが、保険詐欺や金融商品詐欺など「その他」を選んだ方も多く、トラブル種目は多岐にわたる。また、金融トラブルにあいそうになったことがある方は「マルチ商法・ねずみ講」が最も多く、続いて「ワンクリック詐欺」、「フィッシング詐欺」の順に多い。

➤ お金にまつわるトラブルにあった、またはあいそうになったと回答した方に伺います。どのようなトラブルだったか、お答えいただける範囲でお答えください。(複数選択可)

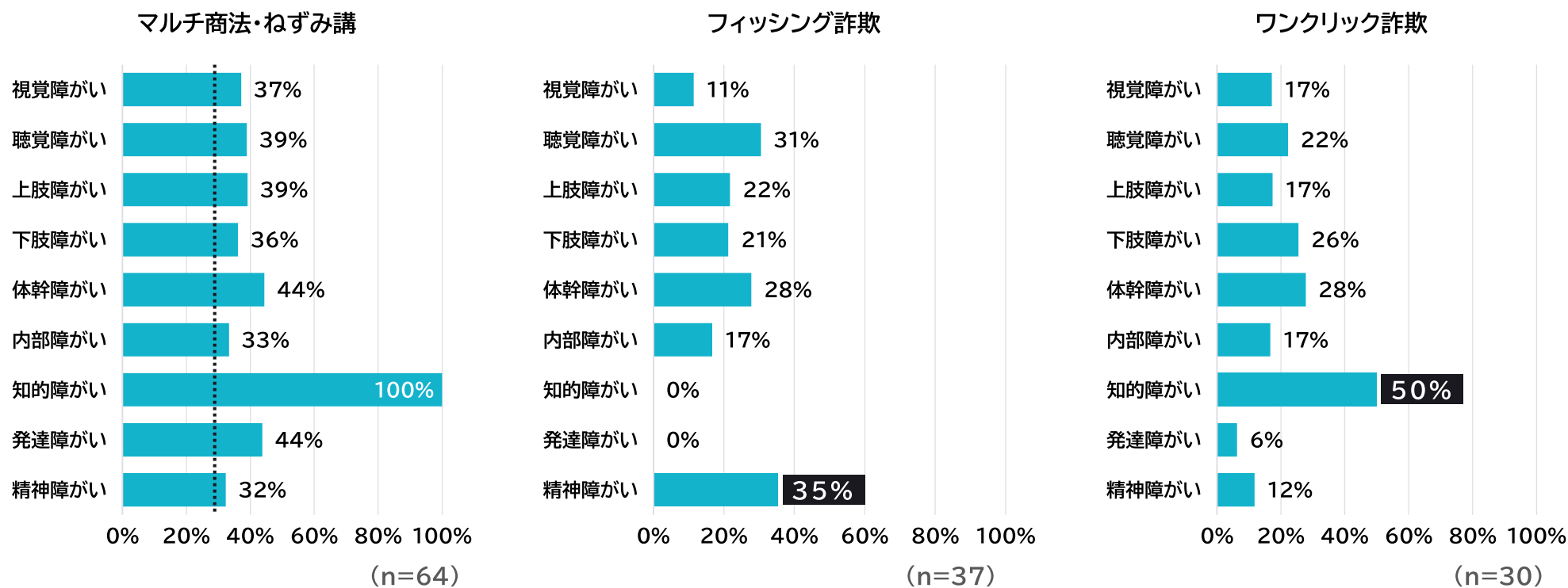


※「トラブルにあったことがある」その他:視覚(金融商品詐欺、契約詐欺)、聴覚(ネットショッピング詐欺、保険詐欺、国際ロマンス詐欺)、上肢(ネットショッピング詐欺)、下肢(フィッシング詐欺とワンクリック詐欺の掛け合わせ)、発達(オーディション商法、マッチングアプリ廃課金)、精神(金融商品詐欺、保険詐欺)

金融トラブル種目TOP3×障がい種別

- 「マルチ商法・ねずみ講」は障がい種別に関わらず、30%以上が選択している。
- 「フィッシング詐欺」は精神障がいが多い、「ワンクリック詐欺」は知的、体幹、下肢障がいの順に多い。

➤ お金にまつわるトラブルにあった、またはあいそうになったと回答した方に伺います。どのようなトラブルだったか、お答えいただける範囲でお答えください。(複数選択可)

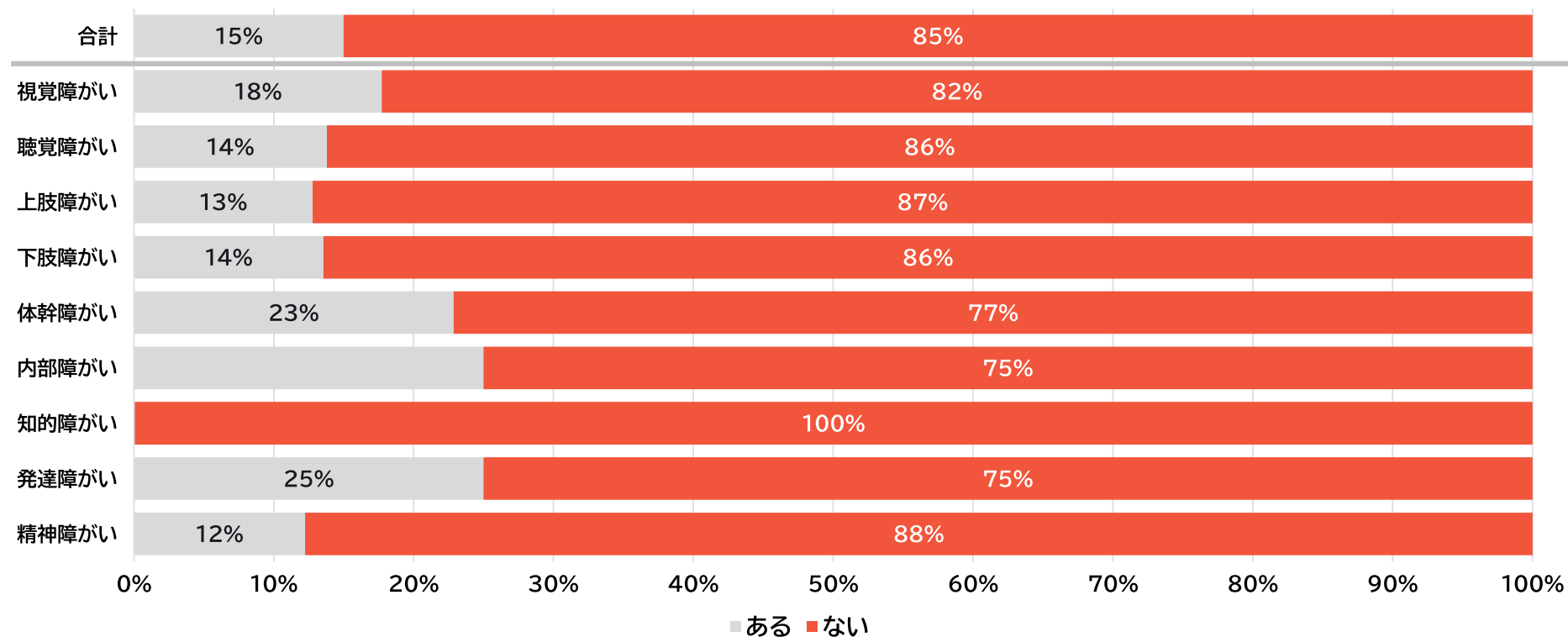


※知的、内部障がいはサンプル数寡少のため参考値

金融セミナー受講経験の有無×障がい種別

- ・ 障がい種別に関わらず、80%程度が受講経験がない。
- ・ 受講経験は、体幹、内部、発達障がいの順に多く、知的障がいは参考値であるものの全ての方が受講したことがない。

➤ あなたはこれまでに、お金についてのセミナーや勉強会などを受講したことがありますか？

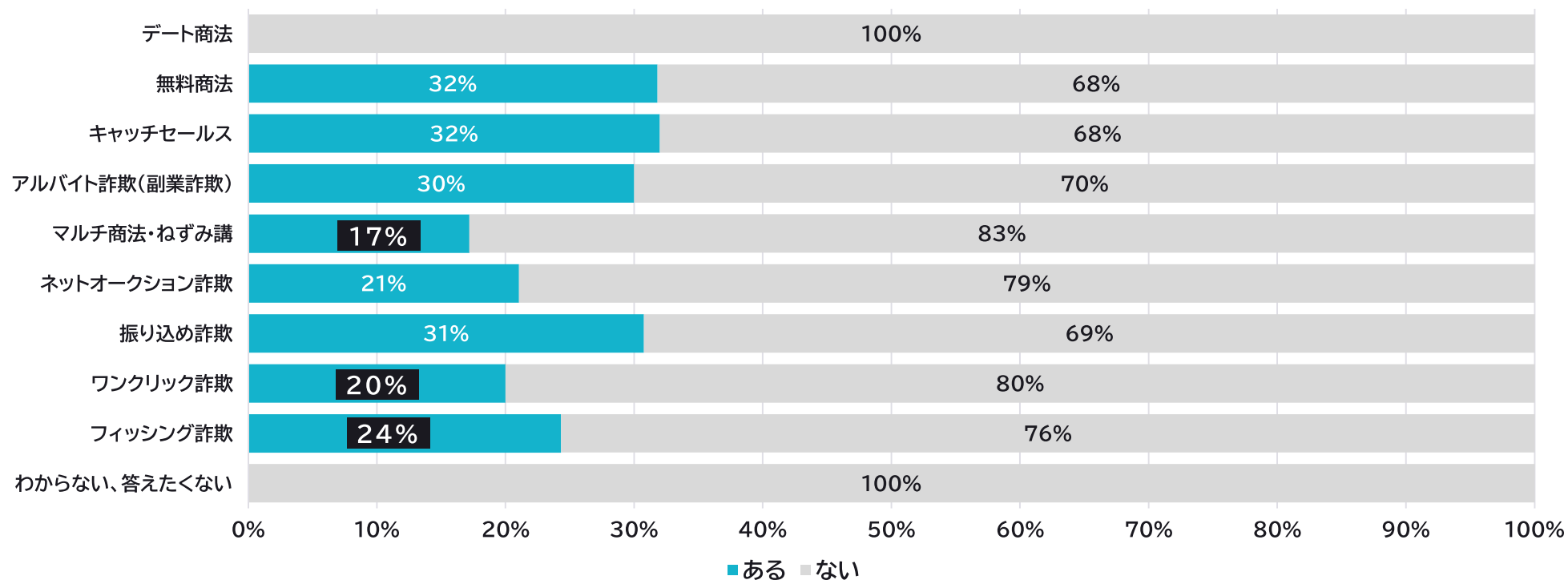


(n=300)※知的、内部障がいはサンプル数寡少のため参考値

金融セミナー受講経験の有無×金融トラブル種目

- 最もトラブル経験者が多い金融トラブル種目の「マルチ商法・ねずみ講」が、最も受講経験者が少なく、「ワンクリック詐欺」、「フィッシング詐欺」も受講経験者が20%程度になる。

▶ あなたはこれまでに、お金についてのセミナーや勉強会などを受講したことがありますか？(お金にまつわるトラブルにあった、またはあいそようになった方の回答)

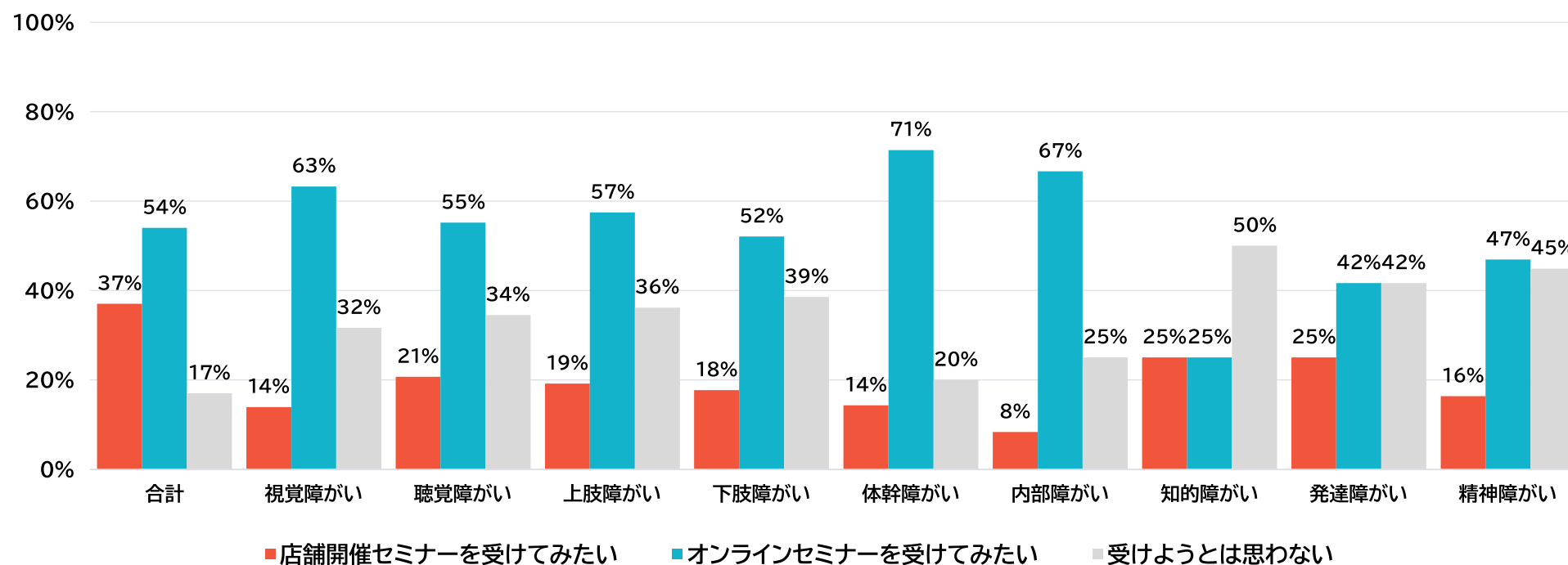


(n=161)

金融セミナー受講意欲の有無×障がい種別

- 知的障がい(参考値)を除くすべての障がい種別で、「オンラインセミナーを受けてみたい」が最多の回答となり、開催形態はオンラインが望ましいが、一方で「店舗開催セミナーを受けてみたい」と答えた方も内部障がい(参考値)を除くすべての障がい種別で10%を超えているため、選択肢として用意することが望ましい。

➤ お金にまつわることを教えてくれる金融セミナーがあれば受講してみようと思いますか？(複数回答可)

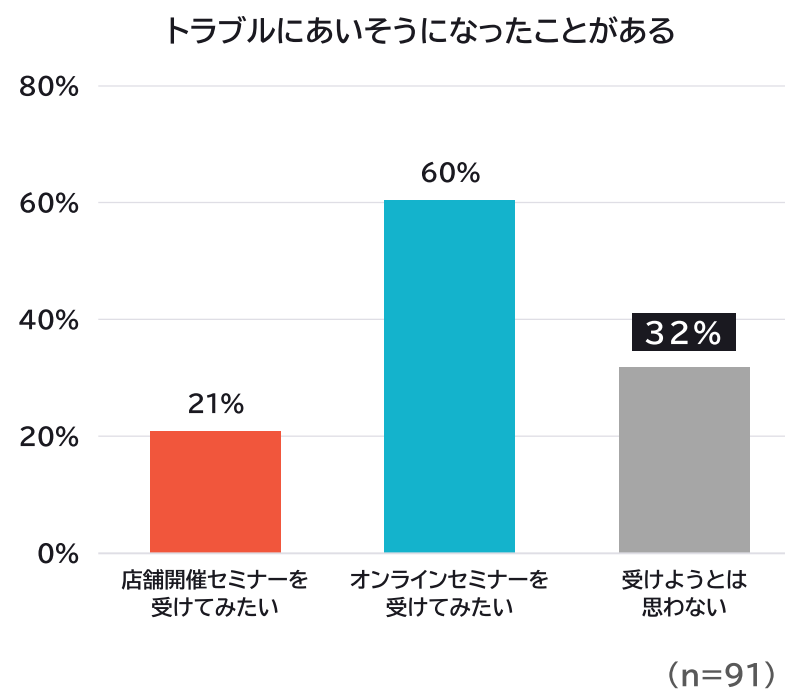
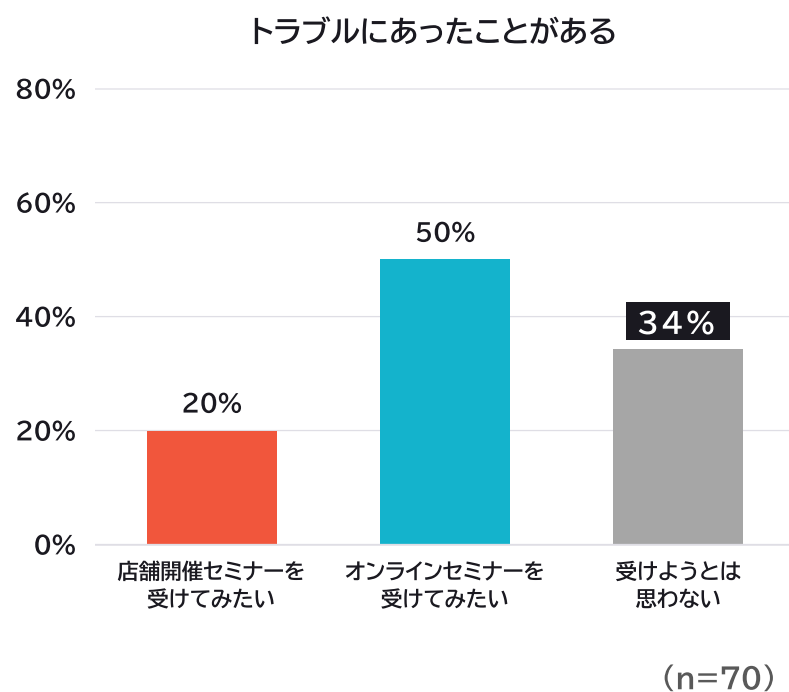


(n=300)※知的、内部障がいはサンプル数寡少のため参考値

金融セミナー受講意欲の有無×金融トラブル有無

- 金融トラブルにあった、あいそようになったことがある方の70%以上が受講意欲はあるものの、30%以上が「受けようとは思わない」と答えている。

➤ お金にまつわることを教えてくれる金融セミナーがあれば受講してみようと思いますか？(複数回答可※「受けようとは思わない」との同時選択は不可)(お金にまつわるトラブルにあった、またはあいそようになった方の回答)



金融教育を受けたい年代(×年代)

- 20代を除く全ての年代が「義務教育(中学校)までの間」に教育を受けたかったと答えているものの、18~19歳(参考値)を除く全ての年代において、一定数が自身の年代でも学びたいと答えている。

➤ お金にまつわることの教育を受けると考えた時、どのタイミングで学ぶのがいいと思いますか？「子供の頃に勉強しておけばよかった」や、「老後になってからでいい」など、過去や将来設計のイメージから、もっともあてはまるものを教えてください。

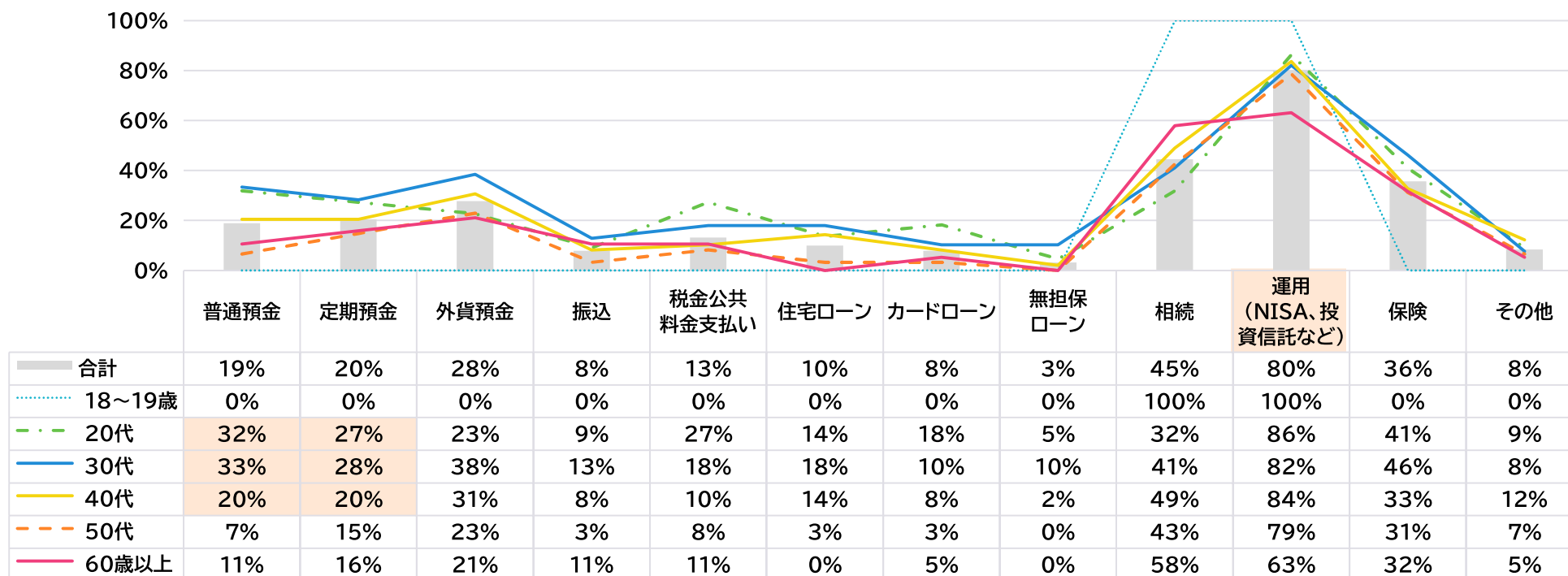
受講したい年代 現在の年代	義務教育(中学校)までの間	高校時代	大学時代	20代	30代	40~50代	60代以降
18~19歳	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
20代	37%	40%	13%	10%	0%	0%	0%
30代	42%	24%	17%	12%	5%	0%	0%
40代	51%	30%	5%	6%	4%	5%	0%
50代	43%	27%	8%	13%	5%	3%	0%
60歳以上	41%	25%	3%	9%	3%	6%	13%

(n=300)※18~19歳はサンプル数寡少のため参考値

受けてみたい金融セミナー内容×年代

- 全ての年代において過半数が「運用(NISA、投資信託など)」を選び、次いで「相続」、「保険」、「外貨預金」が多い。一方、「無担保ローン」、「カードローン」、「住宅ローン」、「振込」は少ない。
- 20代～40代で「普通預金」、「定期預金」など、基礎的な学びを求めている層が20%以上となっている。

▶ 受講してみたい金融セミナーの内容について教えてください。(複数回答可)



※その他:20代(利用できる障がい福祉)、30代(国債や為替レートの仕組み、仮想通貨取引)、40代(障がい者向け金融商品、投資型不動産、仮想通貨、ネットバンキング、FX、社会保障)、50代(ネットバンキング、年金、株式)、60代(FX)

(n=300)※18～19歳はサンプル数寡少のため参考値

金融セミナー受講に関する懸念事項や要望×障がい種別①

- 金融セミナーを受講するにあたっての懸念事項や要望があれば教えてください。受けようと思わない方は、なぜ受けようと思わないのかを教えてください。(下記自由回答は一部抜粋)

分かりやすく学べる工夫が必要(38%)

■情報保障(手話通訳、要約筆記、音声認識字幕)が必要

- 口の動きから理解することができない。手話通訳が付いていたら受けたい。(聴覚障がい)
- 手話通訳、要約筆記の派遣をお願いしたい。手話は日常的に使っているので理解できるが、専門的な内容になるため要約筆記も同時に希望したい。(聴覚障がい)
- 手話通訳を依頼するためには事前の手続きや準備が必要なので参加への心理的ハードルが高い。(聴覚障がい)
- 講師やスクリーンなどの横にリアルタイム翻訳の音声認識字幕が欲しい。要約筆記でも良いが、スクリーンや講師の身振り手振りを見ながら、隣にいる要約筆記の文章を読む必要があり、せわしなく目線を動かし続けなければならないので、数分でも頭痛が起きるほどの疲労感がある。(聴覚障がい)
- 聴覚障がい者だが手話が理解出来ないため、字幕がないと受講できない。(聴覚障がい)

■資料の事前配布

- スライドを表示されても見るできないので、事前に資料を提供してほしい。できれば、スクリーンリーダーでも読み上げ可能なテキストデータでの提供があるとよい。(視覚障がい)
- 点字での説明資料配布や、録音のアーカイブを事前に用意してほしい。(視覚障がい)
- 音声のみの説明であれば聞き間違いをしてしまう。手元に資料があると安心。(聴覚障がい)
- 聴覚障がいと発達障がいもあるので、聞こえづらさや、言われたことを忘れる、ニュアンスや解釈違いが起きると困るので、詳細な資料を事前に送ってほしい。(下肢障がい)
- 聞きながらメモを取ることが苦手なのでレジュメなどあらかじめ資料がほしい。(発達障がい)

※ %値は自由回答を整理しカテゴリー別に算出した割合。

金融セミナー受講に関する懸念事項や要望×障がい種別②

■授業内容の丁寧な言語化、分かりやすい説明が必要

- ・ 目視で確認できないので、グラフやチャートを言語化し口頭で説明してほしい。(視覚障がい)
- ・ 社会人になり、自力でお金の管理や保険契約などをするようになったが、説明されても覚えにくい・理解しにくいことが多い。少しでも理解するためには、わかりやすく受講できるセミナーがあるのであれば参加したいと考えている。(視覚障がい)
- ・ お金に関して興味はあるが数字が苦手なため勉強するまで至っていない。誰にでもわかりやすいセミナーがあれば参加したい。(下肢障がい)
- ・ 発達障がいや知的障がいがある方でも理解しやすいように、内容を簡潔に説明してほしい。(発達障がい)

■受講しやすい参加方法が大切(11%)

■オンラインで受講したい。

- ・ 視覚障がいがあるので理解しやすい動画や読み上げ可能なテキストデータを使ったオンラインセミナーだと嬉しい。(視覚障がい)
- ・ 長時間車椅子に座れないので、オンラインセミナーが充実してほしい。(下肢障がい)
- ・ 自分の好きなタイミングで、自分のペースで受講したい。(下肢障がい)
- ・ オンラインで受けたい。ネット上であっても基本的に人と関わる事に不安を感じるが、Zoomで何度か体験したオンライン公演等は、会場に居る方は直接的な会話・オンラインの場合はチャット機能で質問を送信する方法だった。数日間はアーカイブされたので分かりづらかった部分を後から確認したり学び直す事が出来た。(精神障がい)

■移動が困難、セミナー会場の環境が不安

- ・ 会場が遠距離だと行きにくいZoomなどには抵抗がある。(下肢障がい)
- ・ 車いすでアクセスできる会場やバリアフリートイレがあれば安心。(下肢障がい)
- ・ 感覚過敏のため、周りの音や臭いが気になるし、人より照明が眩しく感じる。(発達障がい)

■受講時間や受講料への不安

- ・ 受講時間が長いと体が疲れてしまうので、なるべく1~2時間以内、もしくは休憩時間を設けていただけるとありがたい。(上肢障がい)
- ・ 精神障がいだと、時間をかけた説明が必要。2~3部制でゆっくり休憩を入れてほしい。(精神障がい)
- ・ 金銭面の負担が大きいと参加しにくいので、無料で開催してほしい。(視覚障がい)

※ %値は自由回答を整理しカテゴリー別に算出した割合。

金融セミナー受講に関する懸念事項や要望×障がい種別③

学びたい内容(4%)

■基礎的な知識が学びたい

- ・ 夫婦そろって50代後半になり、実際に月々どのくらいで暮らせるのか等漠然とした不安がある。(上肢障がい)
- ・ 学ぶ機会がなかった。素人過ぎるので基礎から知りたい。(下肢障がい)

■資産運用について学びたい

- ・ 収入を増やすことはできないので、資産を増やすしかないかと考えている。(上肢障がい)
- ・ 上級者向けの内容の講習を受けたい。(精神障がい)

■障がい者向けの商品について学びたい

- ・ 障がい者固有の問題も含めたセミナーなら受講したい。(上肢障がい)
- ・ 障がい年金を受給しているか否かによって異なることがあるので、障がい年金や福祉制度に明るい講師が必要。(発達障がい)

受講したくない理由(47%)

■信用できない

- ・ 信頼できるセミナーか、変に勧誘などされないか心配。(視覚障がい)
- ・ セミナーという言葉に胡散臭いイメージがある。信頼できる団体、組織、県や国が協賛していると信頼しやすいと思う。(精神障がい)

■必要がない

- ・ 知る必要はあると感じるが、今はまだいいと考えている。(視覚障がい)
- ・ 仕事やプライベートの経験において、金融に関する知識が身につけてきた。NISAも利用しているが、YouTubeで情報収集し、自分で選択している。工作上、税金に関する知識もある程度有しているため、現時点では、セミナーを受講する必要性を感じていない。(下肢障がい)

■忙しい、金銭的に余裕がない

- ・ まだ仕事をしているので、開催時間が合えば、受講したいが、現実には時間が調整できない。(視覚障がい)
- ・ 現段階では資産運用するような収入がない。(下肢障がい)

※ %値は自由回答を整理しカテゴリー別に算出した割合。

4. 留意事項

留意事項

報道関係の皆さまへ

本リリース内容および調査内容の転載にあたりましては、
「SMBCコンシューマーファイナンス調べ」と付記のうえ、
ご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

本調査に関するお問い合わせ窓口

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社

担当 : 広報サステナビリティ推進部 森迫、有山

TEL : 03-6887-1274

E-mail : corporate_info@smbc-cf.com

受付時間 : 9時00分～17時30分(月～金)